

国際社会における武力紛争の平和的解決を希求

市議会 全会一致で決議

市議会では、6月27日の本会議で、国際社会における武力紛争の平和的解決を求める決議を全会一致で可決した。内容は、この間のイスラエルとイランの交戦や、これに米国が加わった軍事衝突となった状況等に関し、非核平和都市を宣言する枚方市の市議会として、米国トランプ大統領による広島、長崎への原爆投下を正当化するような発言を看過、容認できないこと、また、国際社会における武力紛争の平和的解決を求めることについて、決議し、表明するもの。

★決議とは、議会が行う事実上の意思決定行為で、議会の意思を対外的に表明する意図でなされる議決のこと。

★本市は1982年に府内で初めて「非核平和都市」を宣言した自治体。本市議会はこの都市宣言を全会一致で可決したほか、この間、都度、核実験への抗議や核兵器の使用禁止を求める決議、ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議などを議決してきた。

★決議文は別紙のとおり。

<お問い合わせ>

市議会事務局・議事調査課（担当：尾松） ☎：072-841-1528 FAX：072-841-0240

国際社会における武力紛争の平和的解決を求める決議

イスラエルとイランの交戦が続く中、米国がイスラエルによるイラン攻撃に加わり核施設３か所を空爆し、それに対してイランが報復するなど、中東における軍事衝突の応酬が続いています。そうした中、米国のドナルド・トランプ大統領は、イランの核施設への空爆を広島と長崎への原爆投下になぞらえ、「戦争を終わらせた」と発言したとされています。

非核平和都市を宣言し、核兵器の廃絶及び国際社会の平和と安全を願う枚方市の市議会として、原爆投下を正当化するような発言は決して看過、容認することはできず、人道的立場からも、国際社会における武力紛争の平和的解決を強く求めます。

以上、決議します。

令和７年６月２７日

枚 方 市 議 会